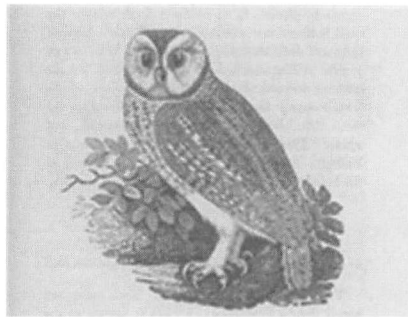


目 次

はしがき

【設立記念講演】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
文化遺産としての向日庵 ―過去を見つめ、未来を見ずえる「開かれた場」―	
甲南大学教授 中島俊郎	
(2017 年 4 月 30 日 於：西向日コミュニティーセンター)	
寿岳文章からはじまる杉原紙の里・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
多可町立那珂ふれあい館館長 安平勝利	
(2017 年 9 月 3 日 於：向日市寺戸公民館)	
寿岳文章の和紙研究と寿岳文庫の資料について・・・・・・・・・・	26
杉原紙振興ボランティアの会代表 山仲進	
(2017 年 9 月 3 日 於：向日市寺戸公民館)	
正倉院の紙と昭和の調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
公益財団法人紙の博物館 前学芸部長 辻本直彦	
(2017 年 9 月 3 日 於：向日市寺戸公民館)	
和紙の調査分析に秀でた人物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46
東京都市大学名誉教授（文学博士）河野徳吉	
(2017 年 11 月 4 日 於：長岡京市立中央公民館)	



河井寛次郎著 詞編「いのちの窓」に依り寛次郎の思い、願いに迫る・・・・・・ 51

—柳先生と民藝運動とも絡めて—

河井寛次郎記念館館長 河井敏孝

(2018年5月20日 於：キャンパスプラザ京都)

寿岳文章の生きた軌跡と新村出・・・・・・ 61

新村出記念財団重山文庫 新村恭

(2018年9月29日 於：長岡京市中央生涯学習センター)

昭和初期の向日町と文化人・・・・・・ 77

向日市文化資料館館長 玉城玲子

(2018年12月15日 於：長岡京市立中央公民館)

【会員研究発表】・・・・・・ 83

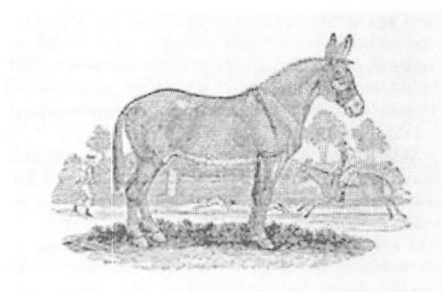
『和紙研究』解説

京都工芸繊維大学非常勤講師 紙漉き師 田村正

(2018年12月15日 於：長岡京市立中央公民館)

あとがき

挿絵 Thomas Bewick (1753-1828)



「英国農村の風物を余白挿絵（いわゆるカット）風に点出する場合、他のどんな版画家の作品よりもビューイックがふさわしく、打ってつけであることを、私はギルバート・ホワイトの『セルボーン博物誌』の邦語訳を岩波文庫に入れるに際し、当時英国文化使節として日本に来ていたエドモンド・ブランデンとも検討の上、結論づけた思い出がある」

寿岳文章